

懐かしの Photograph

盛岡写真今昔物語

普段見慣れた街の姿も、時の流れの中で少しずつ、時には大きく変化してきました。心の奥に残っている、昔の街の姿を懐かしみながら、変化し続ける盛岡の街をご覧ください。



昭和45年の青山町（県道盛岡滝沢線）

昭和21年に開町した青山町。毎年のように新しい市営住宅が完成し、ベッドタウンとして人口が増加していきました。

(写真提供：街もりおか)



現在の青山町（県道盛岡滝沢線）

通りの雰囲気は変わらないものの、商店は一変し、まったく違う街のようです。